

授業科目名	ジェンダー論		授業形態	講義	授業科目区分	一般科目 (社会・文化・自然科学)			
担当教員名	前田 博子				補助担当者名				
単位数	1 単位		履修年次	1年次		受け入れ人数	180		
授業の概要	各自のジェンダー意識を自覚する機会を提供する。国際社会と国内におけるジェンダーに関する解釈とその取り組みについて知識を提供する。社会のさまざまな場面におけるジェンダーバイアスに敏感になること、人権問題としてのジェンダー課題の理解力が向上することが期待される。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	D Pで 目指す 資質・ 能力	指導者基礎力、一般教養・倫理	授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	ジェンダーに関する課題と取り組みについて知識を得る。ジェンダー課題の背景についての理解を高める。	○		○		○		50
	■情意的領域	授業に積極的に参加し、授業における課題に積極的に取り組む。	○		○				50
□技能的領域									
成績評価の基準	学期末試験の成績、毎回の授業時に課されるレポートへの取り組みを総合的に評価する。								
テキスト、教材 参考書	テキスト：適宜プリントを配付する 参考書：富岡恵美子・吉岡睦子編・「現代日本の女性と人権」（明石書店）、 金城清子「法女性学のすすめ」（有斐閣）								
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッ セージ含む)						
オフィス・アワー	火曜日の午後（606研究室）								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	前田 博子	本時の進め方 ダイバーシティ 多様な社会について			シラバスによる準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
2	”	ジェンダーとは LGBTについて			課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
3	”	人権と女性の権利			課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
4	”	国際社会の動き 女子差別撤廃条約			課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
5	”	職場における男女差別 男女雇用機会均等法			課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
6	”	社会と家庭生活における共同・協力 男女共同参画社会基本法			課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
7	”	ハラスメントについて			課題による準備（1時間）講義内容の復習（1時間）				
8	”	全体のまとめと試験			課題による準備（1時間）				